令和８年ホヤ類調査結果速報　Ｎｏ．５

令和８年10月27日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試ＨＰでも見ることができます。「函館水試　ホヤ情報」で検索。

10月16日に渡島管内八雲町内浦地区で耳吊りホタテガイ付着物調査および海洋環境調査を実施しました。

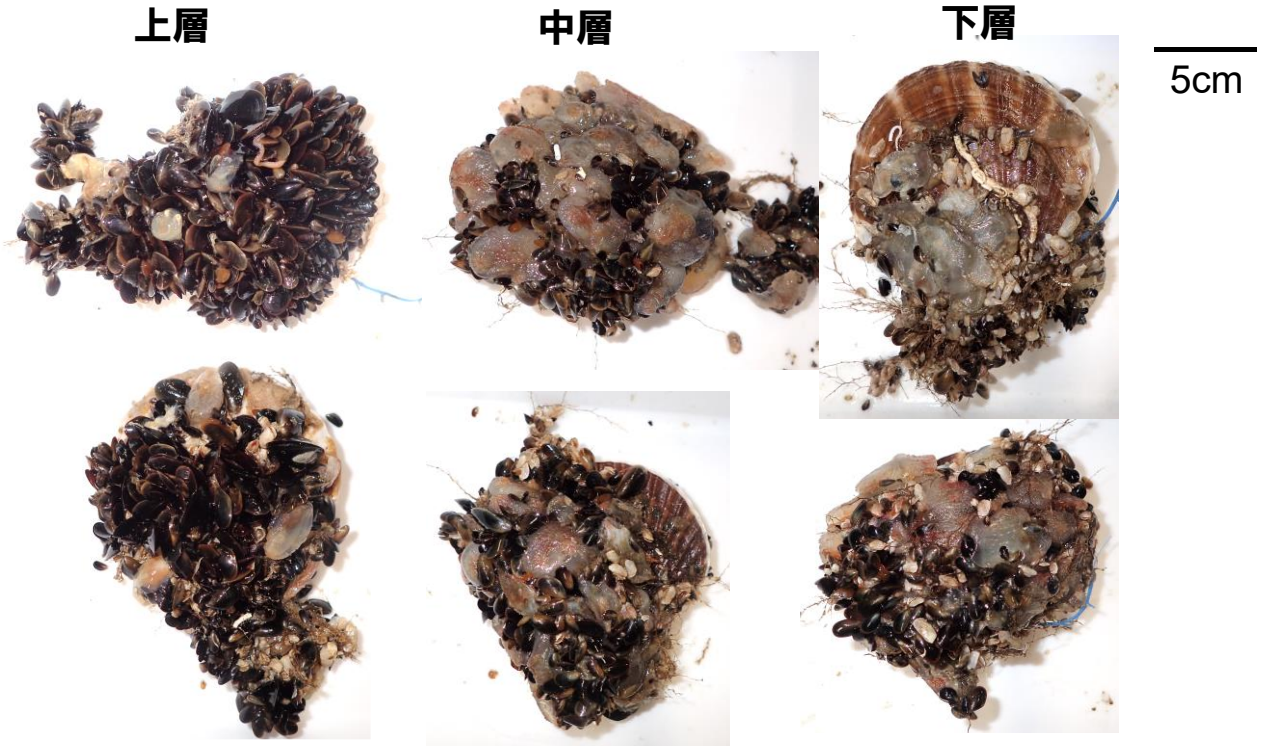
結果概要

- **ヨーロッパザラボヤの付着数は昨年よりも多いが、平年を下回る。**
  ホタテガイ１枚あたりの付着数は22.2個体で、昨年同期（5.6個体）を大きく上回りましたが、平年（28.9個体）よりも少なかったです。

- **ヨーロッパザラボヤの付着重量が平年よりも重い。**
  ホタテガイ１枚あたりの付着重量は64.5gで、昨年同期（3.0g）および平年（54.9g）を上回りました。

- **微小個体は出現せず、直近の新規付着は少ないと考えられる。**
  5mm未満の微小個体は確認されませんでした。

写真　ホタテガイに付着したヨーロッパザラボヤ　令和８年10月16日　八雲町内浦地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部　水上・馬場　TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和８年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

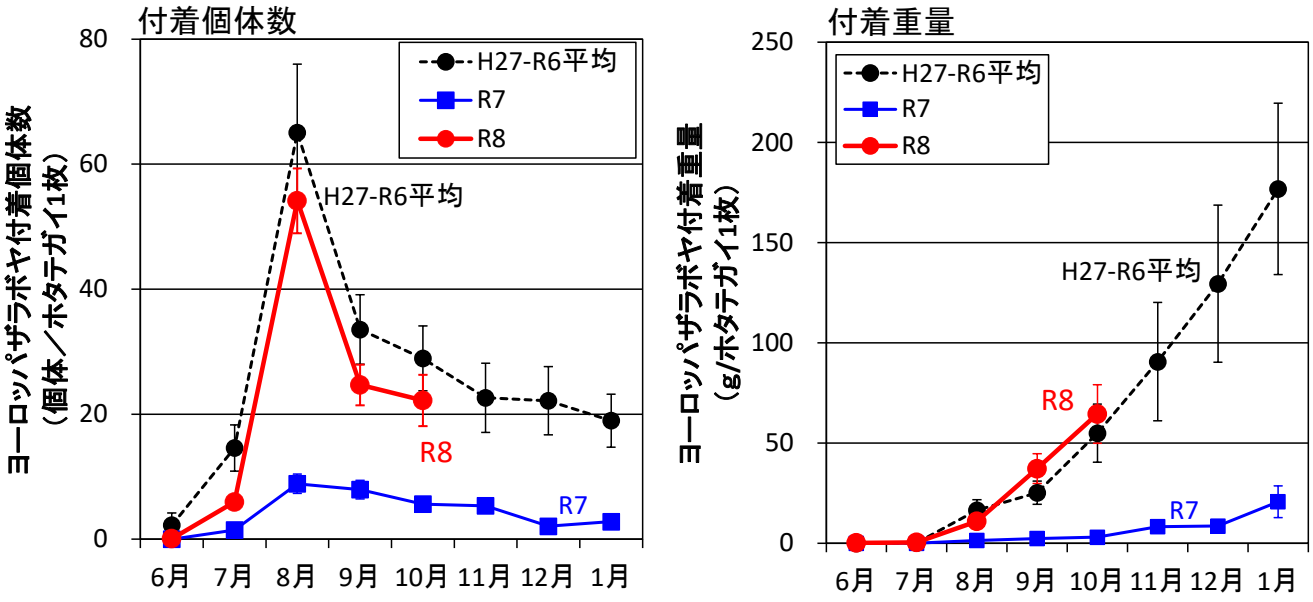
［調査月日：10 月 16 日、調査場所：八雲町内浦沖、採取数：上中下層　各５枚］

ホタテガイを上層、中層、下層から 5 枚ずつ抽出し、肉眼及び実体顕微鏡を用いて、付着物を調査しました（写真）。ヨーロッパザラボヤの平均付着数はホタテガイ 1 枚あたり 22.2 個体と前回から横ばいでした。また、この値は平年（H27～R6 の平均、以下同様）の 28.9 個体を下回りました（表 1、図 1）。一方、ヨーロッパザラボヤの平均付着重量はホタテガイ 1 枚あたり 64.5ｇと平年（54.9ｇ）を上回りました（表 1、図 1）。以上のように、付着数は平年よりも少ないものの、付着重量が平年よりも重くなっている状況です。平均サイズは 26.8mm であり、平年の 23.7mm よりも 3mm 程度大きく、サイズ組成をみると半数以上の個体が成熟サイズである 25mm を超えていました（図 2）。一方、5mm 未満の微小個体は出現せず、前回調査以降の新規付着はほとんど無かったと考えられます。その他の付着物としてはイガイ類の付着が多い傾向でした。

表１　付着生物調査結果（八雲町内浦地区：令和８年 10 月 16 日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	179.4g	202.9g	176.2g	186.2g
ヨーロッパザラボヤ	9.1g	90.9g	93.4g	64.5g
その他	170.3g	111.9g	82.7g	121.7g
ヨーロッパザラボヤ個体数	7.0個体	28.4個体	31.2個体	22.2個体
令和7年10月（R7.10.14）の個体数	2.6個体	9.0個体	5.2個体	5.6個体
令和6年10月（R6.10.25）の個体数	3.0個体	13.4個体	1.8個体	6.1個体
令和5年10月（R5.10.11）の個体数	4.2個体	4.0個体	4.0個体	4.1個体

図１ ヨーロッパザラボヤの付着量の季節変化

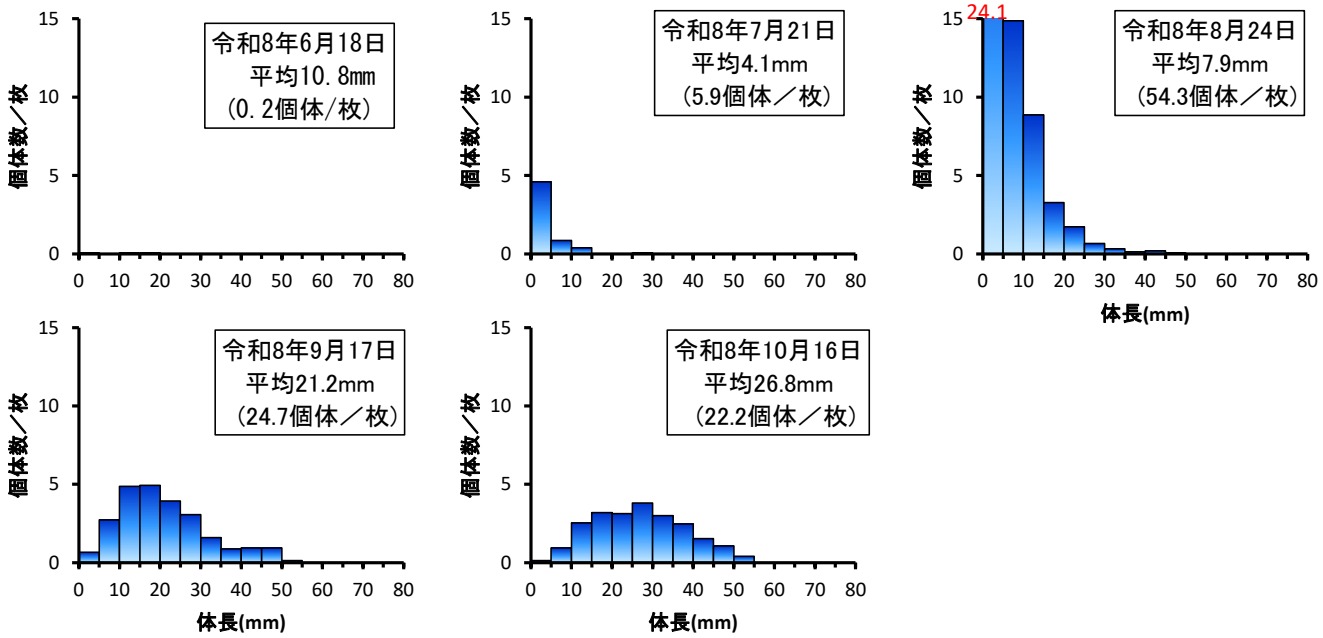


左：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化

右：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化

各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。

図２ ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲町内浦地区：令和８年６～10月）



今後の見通し

図１に示したように、平年の付着重量は冬季にかけて急激に増加していきます。今年の付着重量は既に平年を上回っていることを踏まえると、今後も平年を上回る付着重量で推移する可能性があります。稚貝の本分散作業との兼ね合いもありますが、**可能な範囲で、早めの付着物除去作業の実施を推奨**します。今年付着したヨーロッパザラボヤは来年には親になりますので、駆除を実施することで来年の付着数を抑制する効果が期待できます。